

(仮) 緑と語らいの広場複合施設整備事業について

● 施設の概要

【施設規模】

- 【構造】 鉄骨造 地上 2 階
- 【延床面積】 約 3,800 ㎡
- 【駐車場】 約 110 台

【導入機能】

- 【民間部分】 約 1,400 ㎡
 - ・健康増進機能（フィットネスクラブ・スポーツクラブ）：宮の森スポーツ倶楽部
 - ・生活利便機能（イトイン付コンビニエンスストア）：セイコーマート
 - ・地域情報発信機能：FM e-niwa

【公共部分】 約 2,400 ㎡

- ・市民活動センター、保健センター、図書分館、学童クラブ、児童館、子育て支援、憩の家、夜間診療所

【土地の貸付】

- 【事業用定期借地権期間】 30 年

【工事着手及びオープン予定時期】

- ・工事着手時期：平成 29 年（2017 年）8 月予定
- ・供用開始時期：平成 30 年（2018 年）4 月予定

【年間想定来場者数】

- 施設全体：約 40 万人程度
（公共部分：約 10 万人程度、民間部分：約 30 万人程度）

【外観イメージ図】



【事業コンセプト・基本方針】

3rd place=そこからの場所

— 「エキマエ」に波及する施設づくり —

3rd place とは、職場や学校でもなく家でもない「もうひとつの居場所」を意味します。どこからも拘束されない時間を豊かに健やかに過ごすことは、恵庭市がこれまで取り組まれてきた子どもを中心とした施設づくりの基本理念と考えております。私たちは「緑と語らいの広場」を多世代が集まる **3rd place** にしたいと考えます。



STEP 1 3rd place

まずは人を集める

公共ゾーンの主たる機能として、**健康・交流・図書部門**が計画されています。私たちはこれらの機能と融合し相乗効果を起こすような民間機能の在り方を考えます。

【健康部門】市民の健康をサポートする機能 **健康増進機能** >>> フィットネス

【交流部門】長時間滞在をサポートする機能 **生活利便機能** >>> コンビニカフェ

【図書部門】読書の空間をサポートする機能 **知育創造機能** >>> 温室図書館

公共事業の集約化と民間事業が連携することで、幅の広いプログラム展開、多世代交流が生まれます。これらのコンテンツへ展開する場として従来の図書機能から発展した「**温室図書館**」を施設の中心につくります。そこから各プログラムへ展開しやすいゾーニング計画を行います。



STEP 2 「そこからの場所」

エキマエへの人の流れをつくる

「温室図書館」は5つのコンテンツ「Kids・健康増進・学び・生活利便・地域」を核に、多様な**興味・交流・アクティビティ**に出会える「そこからの場所」を創出します。3rd place が「そこからの場所」となり、多世代交流・賑わいが生まれ、駅前通りの人の流れ、**周辺地域への波及へとつながる相乗効果**を生み出します。

【内観イメージ図】

